

## 令和4年度(2022年度)第1回図書館協議会 議事録

日時：令和4年(2022年)8月30日火曜 午後5時～午後7時30分

場所：真庭市立中央図書館 3階会議室

出席者：浅田祥子委員、大岩功委員、清友久美子委員、清友健二委員、内藤貴嗣委員、  
松尾敏正委員(オンライン参加)、山本信子委員、吉野奈保子委員

欠席者：庄司憲子委員 廣瀬正明委員

事務局：西川正、黒田裕子、上杉朋子、江川泰光

### 1 開会

資料の確認

### 2 任命書交付

### 3 館長挨拶

4月より着任した。これまで人と人が繋がる仕組みを作る仕事をしてきた。真庭市立図書館が「みらい計画」に基づき、人と人がつながって新しい文化を生み出すところになっていくよう役に立ちたい。これからの新しい暮らし方を真庭の皆さんと一緒に考えていく。国の調査で人口減少を止めるには文化があるかどうかだという統計結果が出ている。文化といっても、特定の才能のある人だけのものや伝統文化だけでなく、そこで暮らしている中で生まれてくるもの、対話や応答の中で生まれてくるものだと思う。図書館に行けば司書と一緒に調べたり、やりたいことがあるときに一緒に考えたり悩んでくれる場所になって行ったらと願っている。市民の皆さんにいろいろ教えていただきながらやっていきたい。よろしくお願いします。

### 4 自己紹介

### 5 委員長・副委員長の選出

委員長は清友久美子委員、副委員長は松尾敏正委員

### 6 協議事項

#### (1) 図書館協議会の役割について

事務局が資料2-1、2-2により説明

質疑応答、意見等 なし

○委員長：今回は、事務局が計画に基づく取り組み内容の説明して、それについて意見を委員から出すということでよいか。

○事務局：それでよい。

#### (2) 図書館みらい計画について

事務局が資料 3、「真庭市図書館みらい計画」冊子、当日配布資料 1、2 により説明  
説明内容

- ① 「真庭市図書館みらい計画」について説明：策定の経緯と内容について
- ② 「真庭市図書館みらい計画」で示した使命を達成するためのアクションプランについて、  
実際の取り組み内容を資料 3 および写真で紹介
- ③ 「真庭市図書館みらい計画」に基づく図書館運営に対する評価方法について説明

○事務局

計画に基づき 9 月以降も全館で取り組みを続けて行く。図書館運営についての評価方法は「真庭市図書館みらい計画」21 ページにある通りだが、毎年、取り組み内容や実績をお示しする方法についてもご意見をいただきたい。

○委員長

事務局からの説明に対して、質問、意見などあれば

○委員

「実貸出利用率」について、岡山県立図書館や高梁市立図書館ではどれくらいの数値か。

○委員長

岡山県立図書館では実貸出利用率は出していない。サービス対象が県民全体、と広いためもあるだろう。年間総貸出冊数や利用者数で評価している。高梁市も同様だったと思う。他の自治体でもこの数字を出して評価しているところは少ないので比較は難しい。真庭市は全国的にトップレベルのサービスをめざそうということで目標にしたのだと受け止めている。

一度も図書館を使ったことのない人に来てもらうことで実貸出利用率は上げられる。中央図書館だけでなく市内の各地区館が地元の人にどれくらい働きかけられるかだと思う。

○委員

実貸出利用率を上げるために 3 つ考えた。

- ① 中央図書館での free wi-fi 時間無制限を地区館でも実施。図書館で wi-fi が使えるとなれば若い人たちが来館し、本に出会うきっかけも生まれるだろう。
- ② 人口を超える数の人が来館する宮崎県の都城市立図書館では、「公開選書」というのをしている。市民も司書と一緒に図書館に入れる本を選べる仕組み。自分たちも選んだのだから借りに行こうかという気持ちになるだろう。
- ③ 昨年度、勝山小・中学校の総合学習で町の人への聞き書きを行い、飲食スペースで展示させてもらった。この時、学校の先生方が中央図書館に一度も来たことがないとの話だった。児童生徒の作品を図書館で展示すると関係する人、保護者などが来館するようになる。積極的にすすめるとよいと思う。

#### ○委員

現時点で実貸出利用率が 8.32%とのこと。今年のおミクロン株の流行下でこの数字はすごいことと感心した。図書館が閉館せざるを得なかった 2 年前で 10.68%であることを考えると、「本の香りのするまち」に順調に近づいているのではないか。

本を読まない人が図書館に行くには、何か企画が必要。エスパホールやポンテホールなどの催しで本とコラボするようなことがあるといいと思った。湯原図書館でのカフェの企画などは参考になるだろう。

図書館運営の評価方法について。第三次真庭市教育振興基本計画にも図書館のことが書かれている。ここでの評価指標と連動させていくべき。教育委員会内で縦割りになることなく、数字を積み重ねて行くによりよい図書館運営ができるはず。昨年、社会教育委員会で市内の図書館の視察を行い、各館の司書のやる気を感じた。特に美甘図書館は小さいが料理の本が充実していたり、中学生が待ち合い時間に入るような環境になっており、このような利用のされ方もあると思った。社会教育委員としては公民館の必要性を非常に感じる。そういう意味でも図書館をキーとしたまちづくりが企画されればと思う。

#### ○委員

小・中学校の図書館教育部会の研修として、夏に学校図書司書との合同研修会を開催している。今年度は、美甘、湯原、蒜山図書館の見学会を行った。各図書館の司書に図書館の取り組みについて説明してもらい、司書として誇りを持って働いていることが感じられた。学校図書館で活かせることも多数あった。一昨年の図書館そだて会議に持ち寄せられたアイデアが活かされており嬉しく思った。こういうところはどんどんアピールしていただきたい。

取り組み状況を聞いて、今の時代にあったデジタル化、郷土の文化を大切にする取り組み、多様性に対応した取り組みがあり、図書館として前進していることが伝わってきた。学校、地域、行政とも図書館の役割を意識した連携ができています。質問になるが、学校との連携として「ようこそ図書館」などで、現在どれくらいの学校が市立図書館へ来ているか知りたい。

図書カードについては小学校に上がるときに図書館から声をかけてもらい全新生徒に登録を呼びかけている。自動車文庫が来る学校では子どもたちはそのカードを使って本を借りることができる。

現在学校図書館の蔵書データベース化を進められていて、R5 年度からは公共と学校図書館がつながるといったイメージを持っている。地域の方が学校図書館を利用すること、学校図書館に地域の方が集まる機会がある時に地域の方向けに市立図書館の本を貸してもらうことは可能か。

#### ○事務局

昨年度、小学校は全 20 校中 16 校、市立図書館に來られた。

学校図書館の地域開放はシステム上は可能だが、危機管理面の配慮が必要。一例として、草加部小学校では現在すでに地域の方も学校図書館の本を借りることができること。教育長もコミュニティスクールに関連してそのような構想をお持ちだと聞いている。

本を届ける物流の仕組みも必要。本を通して人が出会っていくという視点で言えば何かいい知恵があれば教えていただきたい。

○委員

中央図書館での文化・芸術に関わる取り組みを広い市域、特に自分が関わっている蒜山にどれだけ連動させていけるかが課題だと感じる。図書館で本を読まなくても、みんなが集う場所としての機能のようなものがあれば若者は公民館や図書館のようなコミュニティスペースに集まっていくのかと思う。そんな企画ができないかと思っている。

○委員

図書館を利用してもらうなら、アウトプットする機会があればいいのでは。アウトプットする機会があれば何をインプットすればいいか考えるようになる。インプットするために図書館を使ってもらうのがいちばん有効ではないかと思う。ビブリオバトルの大会などがいいのでは。

○委員

「みらい計画」策定時のコンセプトに「図書館オーナーは市民だ」というものがあり、図書館そでて会議などで市民の声を反映させながら作っていった。計画の策定作業をしながら図書館が実行に移していき、動きが見えた。

中央図書館に wakico さんのアートが描かれて入口が華やかに、明るくなった。公共のものはどうしても硬いイメージがあるが、市民の目線で、わくわくできるような場所であり続けていくと図書館もいきいきできると思う。SNS の発信も積極的で図書館らしくない。図書館の枠を超えた取り組みもされており、変化し続けているという印象を受けている。

感想になったが、今日はほかの委員のみなさんの意見が聞いて勉強させてもらった。

○委員長

今日いただいた意見をふまえて次回の中間報告の際の材料としてほしい。委員の皆さんも、毎年、取り組み内容や実績を示してもらうよい方法について考えてほしい。

事務局に進行をお返りする。

## 7 その他

### (1) 中央図書館の有効な活用について

事務局が当日資料 3 により説明

(2) その他

○事務局

来年 1 月に 2 回目の図書館協議会を開催予定。あらためて日程調整させていただく。

最後に、委員の皆さんからなにかあればどうぞ。

○委員

「真庭市図書館みらい計画」に書いてあるようなことを市民が図書館と協働して行いたい  
ともちかけた時に、使える予算はあるか。

○事務局

予算規模による。大きな事業であれば予算要求して次年度確保する必要があるが、それ  
ほどでなければ委託費などで賄える場合もある。まずは相談してほしい。

8 閉会

副委員長より閉会のあいさつ

以上